

## 榊田 和美 議員



### 一問一答方式

- ① 地域防災力の向上
- ② 高齢者・障がい者に優しいまちづくり
- ③ 投票所入場券

### 地域防災力の向上について

**問** マイ・タイムラインは、逃げ遅れを防ぐ対策の一つとして国交省が推進している。日々の生活で取り組む時間がとれない方たちにもマイ・タイムラインの作成ができるように、市からの後押しとして避難行動が書き込めるようなマイ・タイムライン・シートを提供すべきではないか。

### 答

マイ・タイムラインは、急な判断が迫られる洪水発生時に、自身の行動のチェック、また判断のサポートツールとして役立つもので、これにより逃げ遅れゼロに向けた効果があります。必要なツールは、現在、一般財団法人河川情報センターが「逃げキッド」という名称のマイ・タイムライン検討ツールを一般公開しており、当面大洲市としても、この活用を進めていきたいと考えています。

「逃げキッド」は、小・中学生向けの作成ツールですが、内容は一般家庭でも使用可能なものであり、市のホームページからリンクさせるなどの対応をしていきたいと考えています。

### 高齢者・障がい者に優しいまちづくりについて

**問** 以前、独居の高齢者、障がい者の方の戸別ごみ収集について

は、ヘルパーさんにはお願いができませんかとの質問をさせていただいたが、その後はどのように取り組まれているのか。

例えば、人材不足であるならば、有償ボランティアの方やシルバー人材センターの方に、市が料金を負担し、戸別ごみ収集を実施するなど考えられないのか。今後どのように解決されていくのか。

### 答

高齢者や障がい者などのごみ出しが困難な方への対応については、喫緊の課題として捉えています。個別には、新介護キップの利用や体の不自由な単身世帯からの要望により、新たにごみステーションを開設した事例もありますが、昨年の災害対応により、その後進捗していないのが現状です。

国においても、高齢化社会に対応したごみ収集のあり方について研究を始めたところで、本市としても、国の動向を注視しながら関係機関からの情報収集に努めるとともに、戸別収集も含め、地域の事情やごみ出しが困難な方に配慮した収集方法及びごみステーションの設置について検討を進めていきたいと考えています。

### 投票所入場券について

**問** 期日前投票は、投票の際に宣誓書に列挙されている一定の事由

の中から、自分が該当するものを記載して投票をすることができ、投票所では緊張してしまい、宣誓書への記入が困難であるとの声を聞く。

近年、近隣の自治体でははがき裏への記載が進められ、投票率アップにもつながるのではないかと考えているが、メリット、デメリットを考慮され、はがき裏へ宣誓書の記載をすることを考えるか。

### 答

選挙における宣誓書は、市のホームページから申請書をダウンロードするなどして、事前に記入の上、投票に来ていただくことも可能とされていますが、さらなる選挙人の利便性向上のためには、ほかの自治体と同様に、入場券に宣誓書を印刷して送付するなどの対応が必要であると考えています。

入場券の様式や送付方法の変更に当たっては、事務量の程度、印刷費や郵送料などの経費面の検討も必要となります。また、選挙人に間違いなく届くという正確性も確保されなければなりません。これらのことを十分考慮しながら、実施に向け検討していきます。